❻ 仕様一覧

※イラストはイメージ図です。

品　番	天板有効寸法(mm)		作業床高さ(mm)	調節幅(mm)	収納寸法(mm)			許容荷重(kN)	重量(kg)	ブレス数量	手掛かり棒数量
	W	D			W	D	H				
CSR180WD	1,680	500	1,417～1,777	25	1,775	767	165	1.47	24.4	4	2
CSR180WF	1,680	500	1,417～1,777	25	1,775	767	165	1.47	26.4	4	4
CSR160WD	1,680	500	1,212～1,573	25	1,775	730	165	1.47	21.9	2	2
CSR130WD	1,300	500	933～1,249	25	1,395	682	165	1.47	16.7	2	無
CSR100WD	1,300	500	654～ 969	25	1,395	629	128	1.47	13.9	無	無
CSR160TD	1,488	400	1,204～1,565	25	1,559	630	160	1.47	18.3	2	2
CSR150D	1,488	400	1,204～1,493	25	1,559	630	160	1.47	16.1	2	無
CSR130D	1,300	400	925～1,238	25	1,395	582	160	1.47	13.2	無	無
CSR100D	1,300	400	646～ 959	25	1,395	529	122	1.47	11.5	無	無

アルインコ株式会社［建材事業部］

〒669-4321　兵庫県氷上郡市島町上垣字縄手849-6　　tel (0795)80-3101　fax (0795)80-3100

FNENNGEENEYCJ

ALINCO

アルミ合金製可搬式作業台

マイティーベース

CSRシリーズ

CSR180WD/180WF/160WD/130WD/100WD/160TD/150D/130D/100D

取扱説明書

Ver. 2.0

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。
またお読みになった後も、この取扱説明書をすぐ取り出せる所へ大切に保管してください。

もくじ

⚠警告

●マイティーベースは正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。
お使いになるときは、本製品の安定した状態を確認してください。

●この取扱説明書に書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

1 各部の名称

1．各部名称　※イラストはCSR180WDです。

手掛かり棒（グリップ）

天板（作業床）

〔ラベル〕Y69

グリップの操作方法

〔ラベル〕マイティーベース品番

ALINCO
マイティーベース
CSR-180W
許容荷重 1.47kN (150kgf)

ブレス

〔ラベル〕Y50C

ここを押して必ずロックすること
ヒンジ操作方法
ここを引き上げて必ずロックすること

〔ラベル〕Y84

警告
フタが完全に閉まっているか確認すること

主 脚

支 柱

伸縮脚

踏さん（ステップ）

調節穴

〔ラベル〕BA1

警告
伸縮脚操作方法
伸縮脚ロック確認方法

〔ラベル〕Y47

先に折りたたむ
指つめ注意

伸縮装置

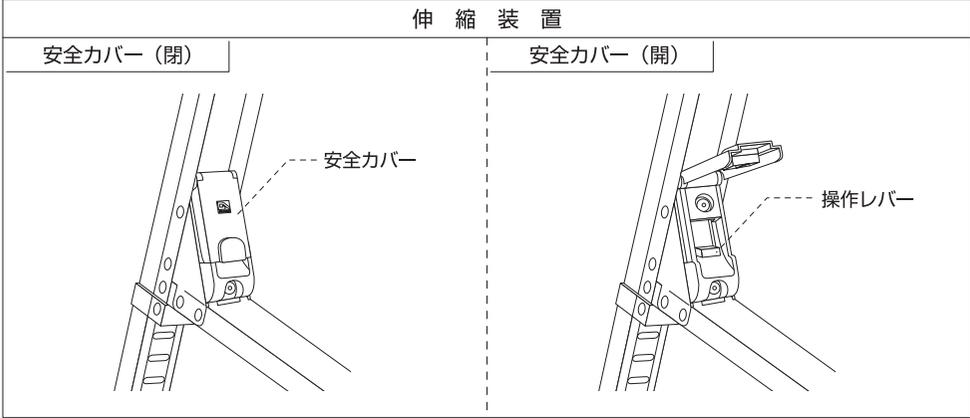
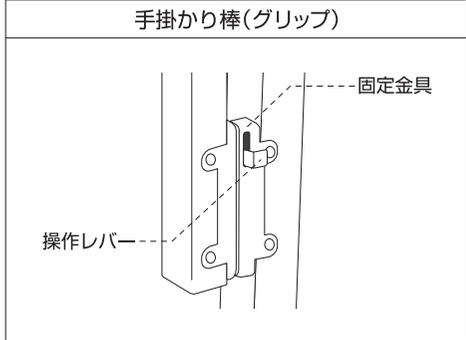
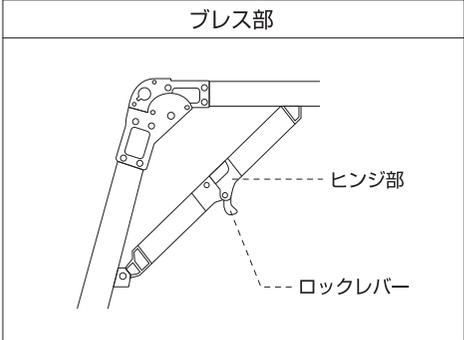
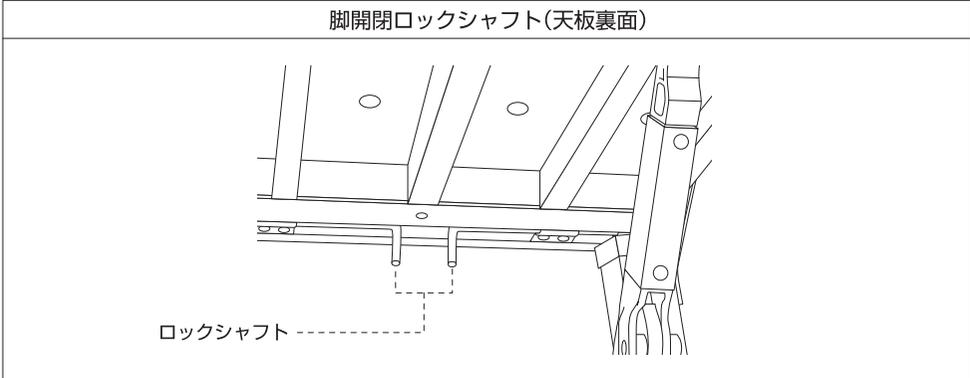
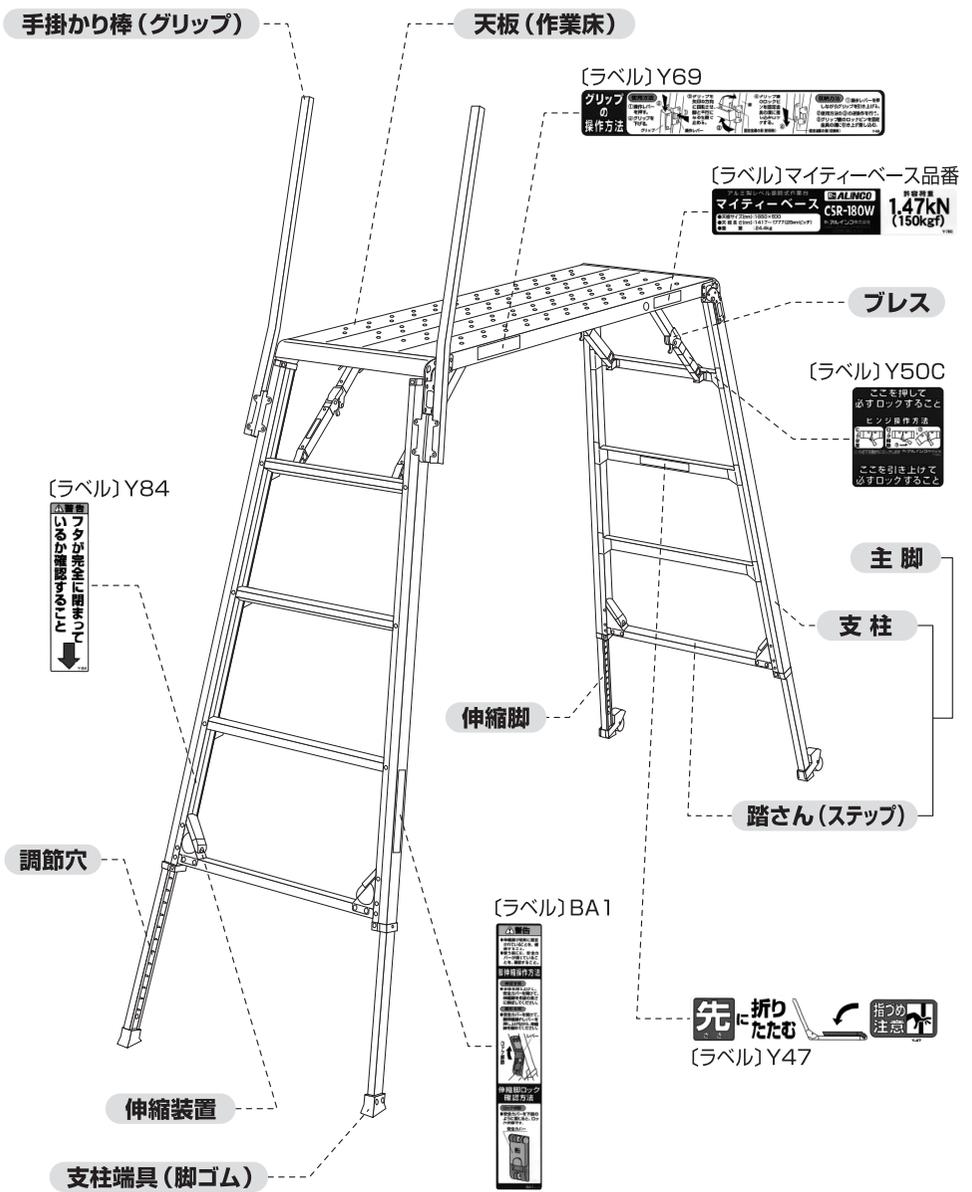
支柱端具（脚ゴム）

脚開閉ロックシャフト(天板裏面)

ブレス部

手掛かり棒(グリップ)

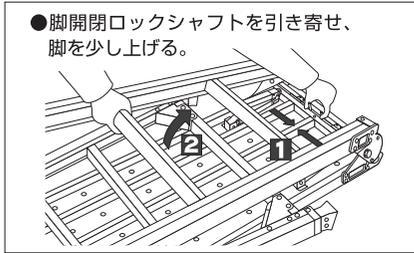
伸　縮　装　置

安全カバー（閉）　安全カバー（開）

❷ 組み立てかた

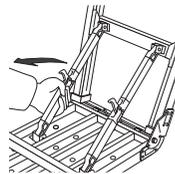
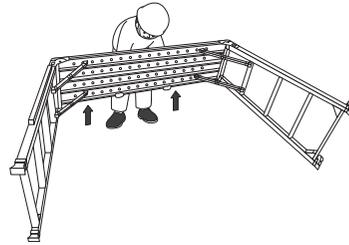
1. 本体の組み立てかた　※イラストはCSR180WDです。

1 天板(作業床)を下にして床面に置き、脚を引き上げてください。

●脚開閉ロックシャフトを引き寄せ、脚を少し上げる。

●脚開閉ロックシャフトから手を離し、脚を引き上げる。

※ブレスのロックヒンジ部がカチッと音がするまで引き上げてロックする。

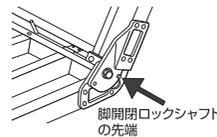
ブレスは130D・100D・100WDにはありません。ブレス数量は、P15「仕様一覧」参照。

2 もう一方の脚を同じ要領で引き上げてください。

3 天板(作業床)部を持ち上げながら、使用状態に起こしてください。

⚠警告

●**マイティーベースの脚を開くとき、回転部で手をはさまないように注意してください。**

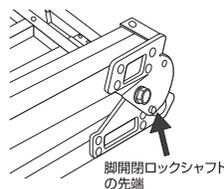
回転金具やブレスの回転部に手をはさんで、けがをする恐れがあります。

●**脚を開いたとき、脚開閉ロックシャフトの先端が、開脚固定位置で確実に突き出ているか確認してください。**

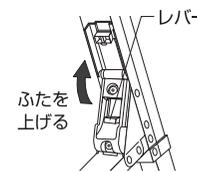
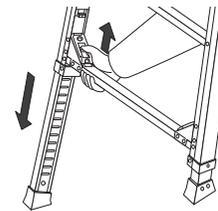
突き出ていないと、脚が折りたたまれ、転落事故の恐れがあります。

●**脚開閉ロックシャフトは、たたかないでください。**

変形や破損の原因になります。

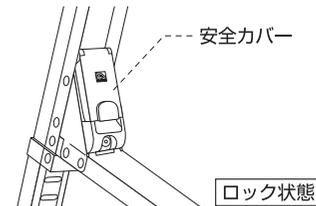
お願い

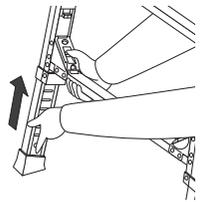
●脚開閉ロックシャフトが動かないときは、先端を軽くたたいてください。

2. 伸縮脚の調節方法

●伸ばしかた●

1 片方の脚部の左右にある安全カバーを開け、操作レバーを押して、脚部を地面から持ち上げてください。

2 希望の長さまで伸縮脚が伸びたところで、操作レバーから手を離し、ロックしてください。

※操作レバーを押して脚部を持ち上げる。

3 反対の脚部も同じように伸縮脚を希望の長さまで伸ばしてください。

4 ガタツキを取り除き、天板(作業床)や踏さん(ステップ)が水平状態になっていることを確認したうえで、4箇所の操作レバーがロックされているか確認し、安全カバーを確実に閉じてください。

●縮めかた●

1 片方の脚部を地面から離して、左右にある安全カバーを開けてから、操作レバーを押してください。

2 その状態で左右の伸縮脚を縮めて、操作レバーがロックされていることを確認し、安全カバーを確実に閉じてください。

3 反対の脚部も同じように伸縮脚を縮めてください。

※操作レバーがロックされていないと安全カバーを閉じることはできません。

※収納時は、必ず伸縮脚を縮めてください。脚がたためなくなることはもちろん、伸縮脚の破損・曲がりの原因となります。

4 「伸ばしかた：4」参照

⚠警告

●**天板(作業床)面が水平になるように伸縮脚を調節してください。**

天板(作業床)が傾斜した状態では、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。

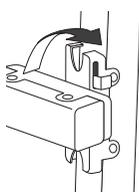
❷ 組み立てかた（つづき）

3. 手掛かり棒（グリップ）の組み立てかた

※手掛かり棒（グリップ）は150型・130型・100型にはありません。手掛かり棒（グリップ）数量は、P15「仕様一覧」参照。

1 本体支柱にある手掛かり棒(グリップ)固定金具の操作レバーを押し、手掛かり棒(グリップ)を下げてください。

2 手掛かり棒（グリップ）を矢印の方向に回転させ、脚と平行になる位置まで持ち上げてください。

3 手掛かり棒（グリップ）裏のロックピンを固定金具の溝に差し込み、ロックしてください。

収納方法

❶操作レバーを押しながら手掛かり棒（グリップ）を押し上げる。

❷操作方法の 2 の逆操作を行う。

❸手掛かり棒（グリップ）裏のロックピンを固定金具の溝に引き上げ差し込む。

4. 収納のしかた

1 全ての手掛かり棒（グリップ）を収納してください。

※手掛かり棒なしの機種は、2 からになります。

※上記「収納方法」参照

2 全ての伸縮脚を支柱に収納してください。

※P4「縮めかた」参照

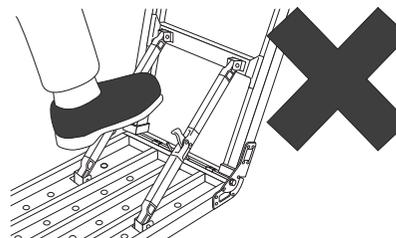
3 天板（作業床）部を手前に倒しながら、静かに横に寝かせてください。
寝かせる時には、乱暴に扱わないでください。

4 開いた脚の端部を持って、天板（作業床）面が接地（脚が上を向く）するように回転させてください。

5 脚を折りたたむ準備をします。

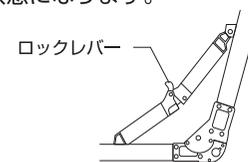
※ブレスなしの機種は 7 からになります。

●ブレスのロックレバーを押しながら少し押し、ヒンジ部のロックを解除します。

ブレスを折りたたむ時には、乱暴に扱わないでください。

6 ブレスは下図のように、少し折りたたまれた状態になります。

⚠警告

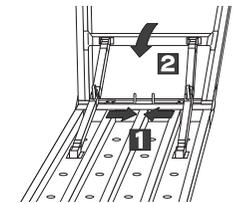
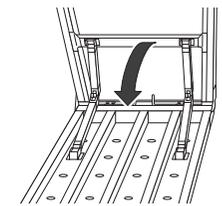
●**マイティーベースの脚を折りたたむとき、回転部で手をはさまないように注意してください。**

回転金具やブレスの回転部（ブレス付の機種の場合）に手をはさんで、けがをする恐れがあります。

7 脚を次のように、折りたたみます。

脚開閉ロックシャフトを引き寄せ、脚を少し折りたたんでから手を脚開閉ロックシャフトから離し、脚を倒します。

※CSR100型以外の機種は、先に折りたたむ脚が指定されています。本体ラベルに従って、順に折りたたんでください。

●脚開閉ロックシャフトを引き寄せ、脚を少し折りたたむ。

▼

●脚開閉ロックシャフトから手を離し、脚を折りたたむ。

8 脚開閉ロックシャフトの先端が、閉脚固定位置で突き出ていることを確認してください。

❸ 使用前点検

マイティーベースをお使いになる前には、次のような点検を行い、異常のないことを確認してください。
また、異常がある場合は使用を中止するかまたは適切な処置を行ってください。

1. 目視による点検

1 天板（作業床）や踏さん（ステップ）に油・樹脂などの滑りやすいものが付着していないか確認してください。付着している場合はきれいに除去してください。

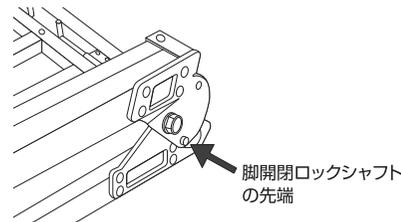
2 天板（作業床）・主脚・踏さん（ステップ）・伸縮脚に曲がり・亀裂・ねじれ・へこみなどの破損が無いか確認してください。

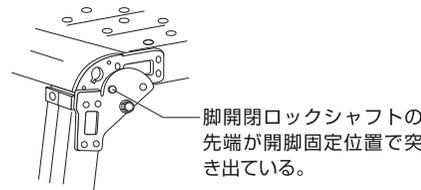
3 接合部分に割れ・腐食・変形などの破損が無いか確認してください。

4 取り付け部分（支柱端具（脚ゴム）など）に破損・脱落・変形・摩耗が無いか確認してください。

5 リベット・ネジ・ボルトなどの緩みや脱落が無いか確認してください。

2. 脚部の開閉機構の点検

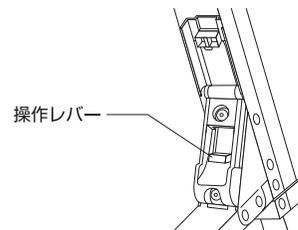
1 脚開閉ロックシャフトがスムーズに引き寄せられるか確認してください。
脚開閉ロックシャフトが硬いときは、脚開閉ロックシャフトをたたかず、先端を軽くたたいてください。

2 左右の回転金具にゆるみや変形がないか確認してください。

3 脚を完全に開いたとき、左右の脚開閉ロックシャフトの先端が確実に突き出ているか確認してください。
先端が出ていないと、機構部に障害があるか脚部が完全に開いていない可能性があり、使用中に事故につながる危険があります。

3. 伸縮脚と伸縮装置の点検

1 伸縮脚を引き出し、調節穴に泥やモルタルなどの付着物がないか確認してください。付着物があると操作レバーが完全に調節穴に噛みこまず、荷重をかけると伸縮脚が縮む危険があります。

2 伸縮脚の調節穴に損傷などがないか確認してください。調節穴に損傷などがあると操作レバーがかからなくなり、荷重をかけると伸縮脚が縮む危険があります。

3 伸縮脚がスムーズに出し入れできるか確認してください。伸縮脚の出し入れがスムーズでない場合、曲がりなどの変形か異物の混入が考えられます。

4 伸縮脚を伸ばしたとき、伸縮装置によって確実に伸縮脚が固定されるか確認してください。伸縮装置の内部は見ることができませんが、操作レバーが伸縮脚の調節穴に噛み込む構造になっており、操作レバーの位置が下にあればロック状態にあります。

5 伸縮脚の長さを調節した後、伸縮装置の安全カバーが閉まるか確認してください。
操作レバーが確実にロックされていなければ安全カバーは閉まりません。

6 伸縮脚を伸ばして設置する場合、念のため伸縮脚が確実に固定されているか踏さん（ステップ）の最下段に軽く体重をかけて確認してください。

4. ブレスの点検

※ブレスは130D・100D・100WDにはありません。
ブレス数量は、P15「仕様一覧」参照。

1 ヒンジのロック部分に破損や変形・へこみ・異物の付着などがないか確認してください。

2 ビス・リベットに変形や脱落がないか確認してください。

3 ブレスを引き上げて直線状態にしたとき、ヒンジ部分が確実にロックされるか確認してください。

5. 手掛かり棒（グリップ）の点検

※手掛かり棒（グリップ）は150型・130型・100型にはありません。手掛かり棒（グリップ）数量は、P15「仕様一覧」参照。

1 手掛かり棒（グリップ）固定金具を取り付けているリベットに緩みや脱落がないか確認してください。

2 手掛かり棒（グリップ）固定金具の操作レバーが機能するか（押してみてバネによって戻るか）確認してください。

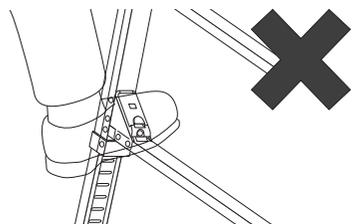
❹ 使用方法

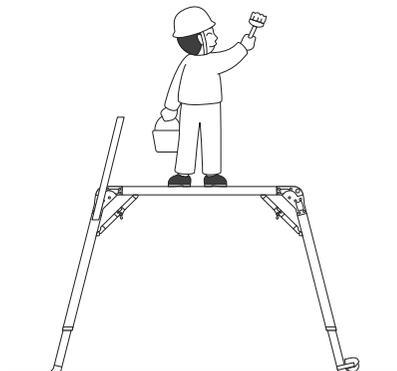
1．昇降のしかた

1 昇降するときは、安全靴などの滑りにくい履き物をはいて、身体の正面を昇降面（梯子面）に向け、両手両足を使って慎重に登り降りしてください。

※ブレス付機種の場合、ブレスに足をかけないように注意してください。

2 踏さん（ステップ）は、けっして段をとばさず、一段ずつしっかりと足をかけて昇降してください。

3 ブレスや伸縮装置に足をかけないように注意して昇降してください。

2．作業のしかた

1 作業は天板（作業床）の中央部で行ってください。

2 ムリな姿勢での作業は避けてください。作業の進行過程でムリな姿勢が生じたときは、いったん床まで降りて、マイティーベースを適正な位置に移動するか、適正な高さに調節したうえで作業を行ってください。

3 昇降及び天板（作業床）上での作業は、１台あたり１名で行ってください。

❺ 使用上の注意

1．設置場所

1 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

※この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

2 安定しない場所や滑りやすい場所には設置しないでください。

※次のような状態の設置場所では、作業台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- ●柔らかい地面で、作業台が安定しない場所
- ●凹凸があって伸縮装置で調節しても、天板（作業床）が水平にならない場所
- ●脚の片側がジャリでもう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所
- ●積雪や凍結している場所
- ●滑りやすい地面や床
- ●その他安定しない場所

3 パイプなどの資材が散乱したままの場所には設置しないでください。

4 雨の中や強い風を受ける場所には設置しないでください。

※濡れた天板（作業床）が滑ったり、強い風を受けてバランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。

5 足下や周囲がはっきり見えない暗がりには設置しないでください。

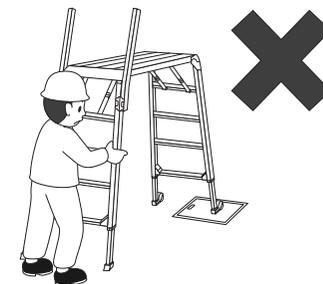
※足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

6 人の出入り口やドアの前には設置しないでください。

※出入りする人や開けたドアで作業台が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

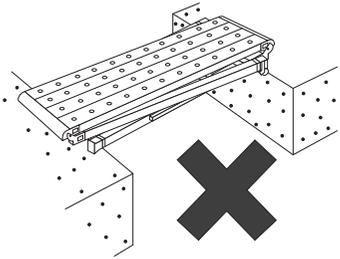
7 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。また、手掛かり棒（グリップ）を持って持ち運びしないでください。

※乱暴に扱うと、変形やへこみなど損傷の原因になります。

8 床の開口部の上または周辺には設置しないでください。

❺ 使用上の注意（つづき）

2. ご使用になる前に

1 作業台としての用途以外に使用しないでください。

※この製品は、高い所で作業するための足場として作られた「可搬式作業台」です。
使い方を誤ったり用途以外の使い方をしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

2 本体表示ラベルに記載されている許容荷重の範囲内で使用してください。

※体重と荷物の合計重量が許容荷重を超えるときは使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

3 本来の整備工場以外での分解・改造・部品交換・修理はしないでください。

※本来の機能を損ない、重大な事故を起こす恐れがあります。

4 使用する前には必ず異常のないことを確認してください。

※P7「使用前点検」参照

5 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

●疲れているとき。
●飲酒しているときや薬物を飲んだとき。
●病気や妊娠しているとき。
●身体に異常を感じるとき。

※身体のバランスが保てず、転倒や転落する恐れがあります。

6 取扱説明書やラベルの内容が理解できない人及び子供は使わないでください。

※取扱説明書や本体に表示されているラベルには、作業台を安全に使用するうえで特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

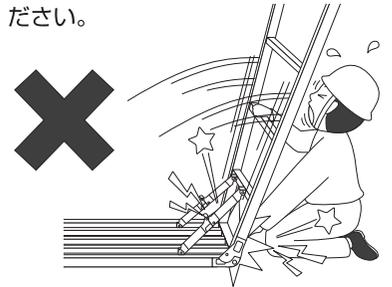
7 変形した作業台を使用しないでください。

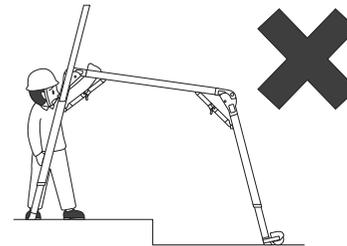
※この製品はアルミ合金製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度が著しく低下します。変形したものを修理して使いますと折れたり曲がったりして重大な事故の原因になります。

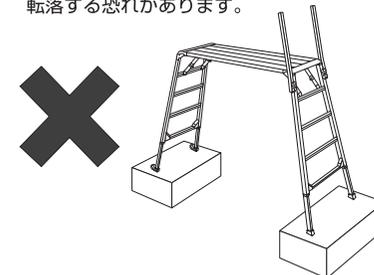
8 運搬時は収納状態にし、脚開閉ロックシャフトの先端により確実にロックされていることを確認してください。

9 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

3. 使用時の注意事項

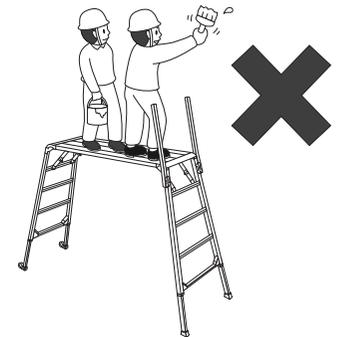
1 作業台を組み立てるとき、可動部や回転部で、手をはさまないように注意してください。

2 天板（作業床）や踏さん（ステップ）が斜めになった状態で使用しないでください。

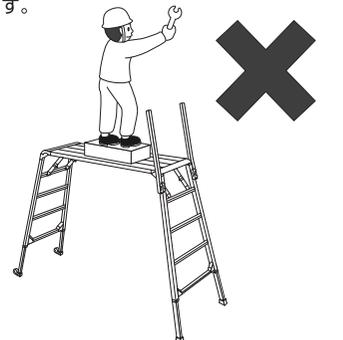
※傾いた状態で使用すると、バランスを崩して転倒や転落する恐れがあります。

3 台や箱などの上に作業台を乗せて使用しないでください。

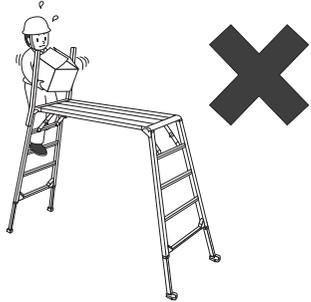
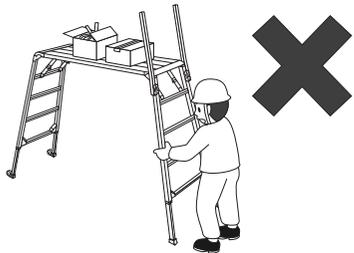
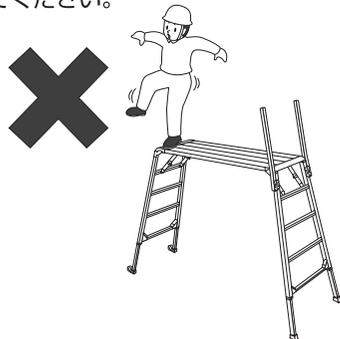
※設置状態が不安定で、台や箱が移動して転倒や転落する恐れがあります。

4 高さを高くするために、脚部にパイプや木などをつないで使用しないでください。

※つなぎ目が外れたり折れたりし、転倒や転落の恐れがあります。

5 1台の作業台に、同時に2人以上乗らないでください。

※許容荷重の範囲内であっても、同時に2人以上が乗るとバランスを崩しやすくたいへん危険です。1台の作業台を単体で使用する場合、作業者は1人に限定してください。

6 天板（作業床）の上に台や脚立・他の作業台などを乗せ、その上に乗らないでください。

※足場が極めて不安定で、転倒や転落の恐れがあります。

3. 使用時の注意事項（つづき）

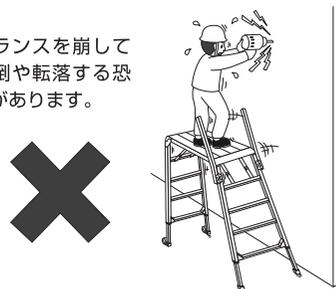
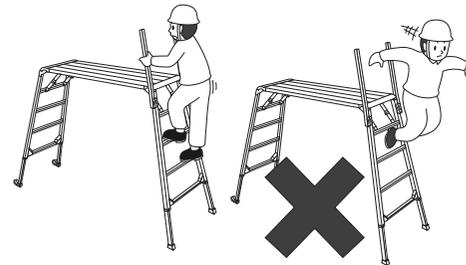
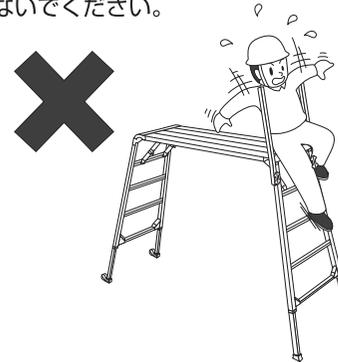
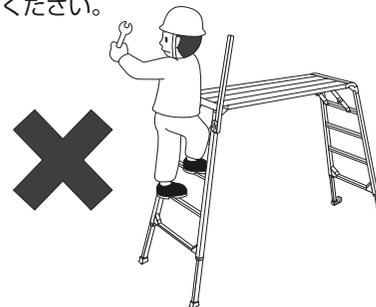
7 身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

8 天板（作業床）の上に人や荷物を乗せたまま作業台を移動しないでください。

9 天板（作業床）の端に立ったり、つま先立ちや片足で立つなどの不安全行為はしないでください。

10 手掛かり棒（グリップ）は原則として作業床高さが1.5m以上になる機種に装備されています。
手掛かり棒（グリップ）を装備している作業台では、昇降時に手掛かり棒（グリップ）を持って登り降りしてください。

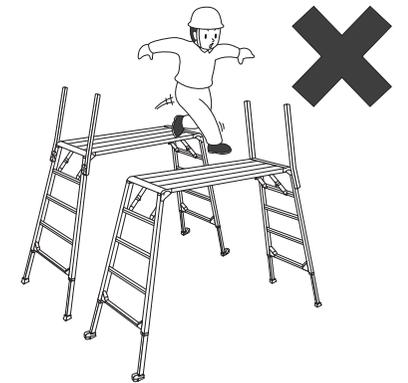
11 天板（作業床）や踏さん（ステップ）から身を乗り出して作業をしないでください。

※身体を乗り出すとバランスを崩して、転倒や転落する恐れがあります。身体を乗り出さず一旦作業台から降り、設置位置を変えてから使用してください。

12 手掛かり棒（グリップ）を持って無理な姿勢で身体を預けたり、極端な荷重をかけないでください。

13 作業中に天板（作業床）の上で壁や物を無理に押したり引いたりしないでください。

※バランスを崩して転倒や転落する恐れがあります。

14 昇降時には静かに登り降りし、天板（作業床）または踏さん（ステップ）の途中から飛び降りたりしないでください。

15 昇降時に、昇降面を背にして登り降りしないでください。

16 踏さん（ステップ）の上で作業をしないでください。

17 作業台から他の作業台や足場に乗り移らないでください。また、他の足場などから作業台に乗り移らないでください。

※転倒や転落の恐れがあり、極めて危険です。

18 作業台と作業台の間に専用部材以外の足場板などをかけて使用しないでください。

※専用部材以外の足場板を利用して拡張されますと、足場板が滑ったり外れたりするなど転落事故を起こす恐れがあります。

19 使用中に粉塵・廃材などの落下や付着が予想される場合は、シートなどで養生をしてください。

20 天板（作業床）の上に人や物を乗せたまま高さ調節をしないでください。

※天板上のものが落下して危険です。

その他作業台に異常を発見した場合は、直ちに使用を中止してください。